

SGH企画 中部学院大学 医療体験セミナー

対 象： 1、2、3年生希望者 **場 所：** 中部学院大・関キャンパス
日 時： 平成27年9月30日(水) 10:30 ~ 12:30
講 師： 山田静子看護学科長を含む看護学科教員、林典雄教授(理学療法学科)
参加者： 1、2、3年生希望者15名

点滴法や超音波エコーの模擬体験のほか、最新の施設・設備を見学しました！



古田学長の挨拶



点滴を行う前の、様々な確認事項を学びました。

- 最初に古田善伯学長より、ご挨拶がありました。古田先生は、関高出身の大先輩であり、高校時代は柔道部で活躍された方です。
- 看護リハビリテーション学部長三上章允先生からは、学部全般についてのお話を聞きました。
- 看護学科では、学科長山田静子先生、林由美子先生やスタッフの方々のご指導で、**点滴法の模擬体験にチャレンジしました。**
- 理学療法学科では、林典雄先生やゼミ生の方々のご指導で**超音波エコー評価にトライしました。**



超音波エコー評価の体験



点滴体験（看護師役や患者役に分かれて行いました。）

生徒の感想

看護学科

- 看護体験は初めてだったので、本物の薬品や器具を触ることができ、とても良い経験となりました。患者に対して看護師の方がどのような配慮をしているのかなどのお話が聞けて、知識を増やすことができました。
- 看護の仕事は、患者の健康に密接に関わっていて、すごく責任のあるものだと思う。きれいに手を洗い、色々な所を消毒してやっと点滴ができることに驚いた。
- 改めて看護の大切さや大変さについて考える良い機会となりました。人の命を守ることが仕事なので、覚えなければならないこともたくさんあって難しそうだと思います。私も人助けをすることができるようになりたいという思いが強くなりました。
- 点滴方法を実際に体験しました。患者の血液に入れる薬なので、間違いがないか必ず二人で確認することを学びました。患者役もやったことで、点滴を受ける患者の気持ちを考えることもできました。
- 実際の点滴の仕方を教えていただきました。色々な手順があって一度に覚えるのは難しかったけれど、大切なのは患者を思う声かけや、速く丁寧にやることだと思います。また、衛生管理もしっかりしなければならないと思いました。将来、患者のために一生懸命働ける看護師になりたいという思いをさらに強くさせてくれる体験となりました。
- 昨年も参加したのですが、今年は全く違う体験をさせていただきました。点滴の体験はそうそうできるのではなく、とても貴重な体験ができてうれしかったです。

理学療法学科

- エコーの体験をさせていただいて、扱いの難しさがわかりました。整形外科でエコーを受けたことがあります。コツがあることにびっくりしたし、エコーだけで体のどこが悪いのかすぐわかるので、便利な機械が発達しているのだとわかりました。
- 一番良かったことは、実際に超音波の機械を使わせていただけたことです。普通なら触れないものを使わせていただいて、本当に良い経験になりました。